

「学習と部活動の両立」に取り組み、大村高校の様子をお知らせします。

大高インフォメーション

ホップステップ

JUMP!

〒856-0635 長崎県立大村高等学校 大村市久原1-591 TEL.0957(52)2660

<http://www.news.ed.jp/omura-h/>

大村警察署感謝状 (12月2日 月)



通過儀礼

長崎県立大村高等学校
校長 鶴田 勝也

年明けに大村市で開催された成人式に出席してきました。市長さんや来賓の方からの祝福と激励の言葉を聞き、新成人の代表者が将来の夢や希望を語りながら、社会を支える一員としての決意表明を力強く述べてくれたことをとても頼もしく思い、私まで元気をもらった気がしました。成人式が、新成人が志を立てその後の人生をしっかりと考え歩んでいく場になっていると思うと、その意義の大きさも、これまで大切な儀式として日本に定着してきた理由もよくわかります。

昔は、子どもから大人になる儀式として「元服」というものがありました。そして、現在その名残として「立身式」が中学2年生時に執り行われている学校もあります。さらには、10歳を迎えた小学生に1/2成人式と称してこれまでの成長への感謝とこれからの人生に希望を抱かせる儀式を行う学校もでてきました。このように年齢的に重要な節目に行われる儀礼を「通過儀礼」といい、次の段階に新しい意味を付するものとして、古くから我が国に根付いてきました。

私は、高校生が直面している受験や受験勉強も、まさにこの通過儀礼ではないかと思っています。それは、長い

人生からすれば、受験は通過点で、決してゴールではなく、通過することで次のステップへの足がかりとなり、通過すること自体に大きな意義があると考えているからです。

受験勉強は、やはり苦しいもので、時に今やっていることが世の中で本当に役立つのかといった考えがよぶることもあるでしょう。しかし、やりだしたことを我慢して自分を律してやりのける姿勢や物事を深く考え探究する姿を今学んでいるわけです。そのことは、今後社会を生き抜く中で大変重要な資質になってきます。もちろん、今やっている学習が必ずしも社会に出てすぐに役立つとは言いえないかもしれませんが、基礎知識から必要な事項を引き出し、結びつけ、新たなものを考え、生み出すという思考と創造の訓練になっているのは確かなことです。そして、高校時代に受験勉強で培った姿勢が厳しい社会に出た時の耐える力になっており、たとえ大きな困難にぶつってもこれまでの知識や経験を引き出し、必要ならば新たなことに挑戦して創造していくことで克服できるのだと思います。大高生には、通過儀礼としての受験勉強をしっかりと受け止め乗り越えてほしいと思います。

さて、3年生は、いよいよ卒業式を迎えます。これも大切な通過儀礼です。沢山の思い出が詰まったこの学舎から希望に満ちた未来へと旅立っていきます。前途洋々といきたいところですが、時には向かい風も強く当たると思いますが、それにじっと耐え抜き、これまで大高で学び頑張ってきた自分を信じて、輝かしい未来に大きく羽ばたいてほしいと思います。卒業する3年生に幸多からんことを祈っています。

優良生徒表彰

優良卒業児童生徒表彰

明時 栄稀 (3-1: 郡中出身)

県高文連表彰

文芸部 川崎 淳平 (3-7: 玖島中出身)

県高体連表彰

ソフトテニス部 飯部 花梨
(3-8: 東長崎中出身)

生徒会活動功労表彰

ソフトテニス部(8名)

飯部 花梨 (3-8: 東長崎中出身)
池田 莉緒 (3-3: 桜が原中出身)
本村 未羽 (3-5: 東長崎中出身)
堀 幸穂 (3-7: 北諺早中出身)
酒井香葉子 (3-8: 諺早中出身)
辻 知寿 (3-8: 東長崎中出身)

演劇部(12名)

【男子】
渡辺 遼介 (3-7: 郡中出身)
内田 悠史 (3-5: 大村中出身)
福田 栄太 (3-6: 郡中出身)
【女子】
樋口 莉胡 (3-6: 玖島中出身)
山崎 明音 (3-5: 西大村中出身)
金崎 麗菜 (3-6: 郡中出身)
松尾 美聖 (3-6: 長田中出身)

尾崎 吉樹 (3-7: 郡中出身)
田川 萌 (3-6: 郡中出身)
方達 真菜 (3-6: 西大村中出身)
石田 龍奈 (3-8: 大村中出身)
谷口 菜織 (3-8: 高来中出身)
剣道部(1名)
沖洲文書 (3-5: 東長崎中出身)
文芸部(1名)
文芸部(1名)
川崎 淳平 (3-7: 玖島中出身)
生徒会(3名)
明時 栄稀 (3-1: 郡中出身)
深川虹太郎 (3-2: 北諺早中出身)
一瀬 歩夢 (3-4: 大村中出身)
たまごニコニコ料理甲子園全国大会
グラブリ受賞「みつごちゃんぽん」
岡田 穂子 (3-8: 玖島中出身)
豆乳レシビ甲子園全国大会総士料理部門
最優秀賞「soy milkちゃんぽん」
清川 由衣 (3-8: 西大村中出身)

善行賞(3名)

馬場一剛 (3-5: 郡中出身)

原 大和 (3-5: 大村中出身)

秀島 青 (3-5: 刈馬市立豊玉中出身)

センター試験壮行式

大学入試センター試験に向けて、前日の1月18日(金)に、受験生256名への壮行式が行われました。

最初に、鶴田校長先生からの激励メッセージを全員で読みました。続いて永田教頭先生から「センター試験の受験に際して、一番の敵は自分自身である」とのお言葉をいただき、お話の最後には教頭先生の首領で全員で「いいね！」と手を高く突き上げ、士気を高めました。学年主任の浜田先生からは、「平常心で臨み、センター試験の最中にも成長する気持ちで臨んでほしい」との話があり、進路主任の中野先生からは受験上の注意点を教えていただき、翌日の試験に向けて気を引き締めました。

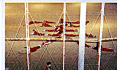
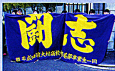
また、生徒を代表して、3年4組の村山圭佑君が「高校3年間で1番学力が高い今、不安はあるかもしれないが自分を信じてベストを尽くそう」と頼もしく話してくれました。後輩の皆さんからの激励もあり、2年7組西崎夏凛さんから2学年からの激励のメッセージと応援の言葉をいただき、1年生からは平羽鶴を受け取りました。

最後には松田先生と中島先生による激励のパフォーマンスもあり、センター試験に向けて全員で思いを一つにすることができました。



センター試験見送り

1月18日(土)、3年生はセンター試験の初日を迎えました。7時のバス集合に合わせて、1・2年生の生徒たちが、大高坂にたくさん駆けつけました。毎年恒例になっている部活動生による3年生の先輩方の見送りで、3年生は、後輩の激励に緊張がほぐれ、ホッとした様子を見せていました。早朝の薄暗い中、先輩達が実力を存分に発揮できるよう、心を込めてバスを見送りました。



校内マラソン大会

1月31日(金)に校内マラソン大会が実施され、男子253名、女子280名がそれぞれ7.0km、4.5kmのコースで健脚を競っていました。当日は天候にも恵まれ、気温も10度前後と最高のコンディションでした。大会には帰国を直後に控えたドイツからの留学生ルビエラ ラウフル君も参加し、大きな声援をうけていました。また、今年も3年8組の生徒たちをはじめ、多くの3年生の協力や声援が後輩たちをカブってくれました。

レース後は、保護者の方からの愛情たっぷりのお汁をいただき、選手たちや教員の心と身体も温まりました。今年もありがとうございます。

男子 (団体)		女子 (団体)	
優勝	2年4組	優勝	2年1組
準優勝	1年7組	準優勝	2年4組
3位	1年4組	3位	1年5組
(個人)		(個人)	
優勝	大友 蒼吾 (1-1 桜井中学校出身)	優勝	山田 実和 (1-6 郡中学校出身)
準優勝	松永 征介 (2-3 坂倉中学校出身)	準優勝	岡部 美月 (1-8 郡中学校出身)
3位	岡本 竜樹 (2-1 川崎中学校出身)	3位	山田 結菜 (2-8 豊原中学校出身)



SSH事業

1 課題探究中間発表会 (2年数理探究科・普通科)

1月24日(金)、2年数理探究科・普通科(258名)の課題探究中間発表会を開催しました。本校の課題探究は、班ごとに自分達で探究テーマを見つけ、その解決に取り組んでいくスタイルのものです。テーマ設定にかなりの時間をとられたり、検証実験が上手くいかず苦戦する班も多々ありましたが、当日はどの班も懸命にポスター発表を行いました。指導助言者の方からは、「高校生らしい視点からの興味深い研究である」「今後飛躍する可能性のある研究がある」といったコメントをいただきました。指導助言者の方々や他校の先生方との質疑応答やアドバイスを活かして、今後の探究を一層質の高いものにし、7月の本発表に向けて取り組んでいきたいと思えます。ご参観、ご指導いただきました皆様方、本当にありがとうございました。

2 課題発見セミナー (2年家政科)

山口大学から頼内秀樹先生をお招きし、『科学的な家庭科「課題研究」を進めるために』というテーマで、課題発見セミナーを実施しました。このセミナーを通じて、「身のまわりで起きている事に関心を持つこと」「あたり前だと思っていることにも何故?という視点で考えること」「不便だと感じる場所にテーマが隠れている」といったことに気づくことができました。3年次の家庭科「課題研究」をより充実したものにできると思えます。



数理探究科 活動紹介

アメリカ研修報告会

1月10日(金)2年数理探究科は、12月のアメリカ研修について報告会を行いました。保護者や教員1年生に対して、現地での授業体験やホームステイ、グランドキャニオンやカリフォルニアサイエンスセンター見学の様子などについてプレゼンテーションしました。海外体験の感動はとて大きく、交流の思い出や異文化に対する考えの変化についてなど、数多くの報告がなされました。



家政科 活動紹介

エアポートファッションショー

12月8日(日)、長崎空港においてエアポートファッションショーが開催されました。これは、平成23年より長崎空港ビルディング社のご好意により始まったもので、今年で9回目となります。会場には、保護者の方や地域の方などが集ってくださり、3年生も学校でのファッションショーとはまた違う雰囲気の中でドレスを披露しました。



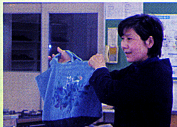
ケーキ作り講習会

1月24日(金)民間講師招へい事業の一環として、1年生家政科を対象に市内の洋菓子店「アガサキヤ」の鶴岡俊一氏を講師としてお菓子作り講習会を開催しました。

生徒達は、プロの手際のよさとコツに感動しながら、実際に「チョコレートシフォンケーキ」や「アップルパイ」を作りました。

染色実習

12月11日(水)、1年家政科では染色実習を行いました。講師の染色家やまぼうし工房の岩永由紀先生にご指導いただき、それぞれ個性豊かな模様を染めあげてきました。



今里廣記賞

今里廣記賞(校内読書感想文コンクール)

今年の校内読書感想文コンクールで最優秀賞(今里廣記賞)を受賞したのは、

- | | | |
|---------|------|---------------------------------|
| | 3年7組 | 川崎淳平さんの
「ライ麦畑でつかまえて」でした。 |
| 最優秀賞 | 3年7組 | 川崎淳平(奴島中出身) |
| (今里廣記賞) | | 「ライ麦畑でつかまえて」 |
| 優秀賞 | 3年4組 | 馬場美伶(桜が原中出身)
「心の探偵」 |
| 〃 | 3年7組 | 山下真聖菜(桜が原中出身)
「私が生きていくために」 |
| 優良賞 | 3年6組 | 中島実聖(豊玉中出身)
「『銀に立つライオン』を読んで」 |
| 〃 | 2年7組 | 濱田夏萌(桜が原中出身)
「樗をにつなぐ意味」 |
| 〃 | 1年7組 | 渡邊美月(桜井中出身)
「貧困と教育」 |

